

KODAK

LICENSED PRODUCT

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000



特別  
 ^5  
 6584  
 1





玉江

古松全

< 98-198 >

詞を集ふは留くくむ月法の時ちよ  
ぶうみくろ人な程程つらすやと  
伊勢大浦のよめふか  
免はくくもくくうむれ露乃  
子とち代のむつさ残るぬくさう物  
とちあん侍ふ柿空のうり物をとや  
新く出でたうさくくくあさ  
るまきううなうゆとこ女うたむれ髪







Handwritten text in a cursive script, likely a list or notes, spanning the right page.

三日月

燕

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥

鳥



千代睦月集 春

題

元日

七海弓

芥菜

栗

善言付書

梅 柳

雪

紙考

初午

春雨

去月

春草

雉子

燕

苗代

花

さくら

三月三日

桃

田の

白魚

菜子

善日

陸

藤

雜





子代正月集 春部

元日



枯ぬ草我踏をよまきい麒麟ふ  
 宗英  
 実たち木実もころやうとくぬ  
 柳燕  
 霜八度好つりとしきうくわん餅  
 嘯琴  
 とのねとれい実てと物やたう月  
 風吟  
 刃うや海方おき八重乃あさ緑  
 漢雪  
 白雪や台ふところれあさよやひ

八十歳よりりくう元日よ

ちよれたあなやそせのなうや老乃喜  
 奥田政之入后  
 面影乃ちまらえさふわさうりう那  
 度流  
 実あひとあさいふむらん三番叟  
 松浦  
 おほくののみさうたさう都う那  
 詠夢  
 梅乃窓下戸もあまうつと物乃喜  
 的場  
 籠けりめ水海なう次高古う那  
 正次  
 ひめこ松柳うあひ乃かさうりう那  
 一睡  
 一睡



あしはれを代りくまはる柳か 湖白

天をく乃かきりさくある日のあふ 思月

醫家かろふれい

玉糸井やあ代のをむむと男 内田 三夕

鏡もちまうろさきとねのん 後山 山本

さほひめや雲乃とられあ代小神 女房 さよ

袖うろつ衣術よ齒乃木のさいさ うたな木 妻

あつと齒乃木と海とのあくさ緑せん 山宮良女 あ

元日やあをきしに菊 藤石

羽子板を初舞もらふあち 可極

いさ響あわやうこうた神乃棚 うた 常木

力のいころともしろ うた

ととちちうりて

あつとくはらや柳とともあ 金虎

書乃庫けさむらたきり梅花 梅枝

正月や雲をあらめてさく 寄和



むくともさるる乃あすゝゝゝ

梅雪

海客の乃唐よきとむくて

ふも乃きやそねよはきても西の方

河内 孫位

乃そやひさ家とれひてり者

甲戌女房 玉

わうらうや雲とさわつと物の有

急木 妻

とこやい乃魚とまう宿の言

伏見下板橋 町楽

正月やうまうた中れく魚物

狂作 政長

類字唱句

宇<sup>カド</sup> 察<sup>ミツ</sup> 窺<sup>ハルカテ</sup> 察<sup>ハカル</sup> 宅<sup>イチヤ</sup>

安藝廣徳佐伯 里洞

と〜おとと程へ海をささるる

誠後羽原 老山

花と〜やとつるをほかじらる柴

同

とつるお佐治をあらころるりか

おま〜お 園月

おと〜と人なり向まりとつ衣裳

おま〜お 正從

とらちち乃心むつま〜や初日氣

一跨

ふひ乃と〜の男髪頂をたあ〜たうか

同 鮮古

まかろあすこととありぬとあ乃山

同



とく玉乃結やうりのもろー門の雲

結玉乃本  
友古

難波よしきとむろー比古

乃事をおもひ出で

古つらもろーつやあまのろろ昆布

古つら  
笑針

ららあつとまふろり園茶のろふ

園茶  
美宣

つ事やうらひとぞろーあそ稽

あそ稽  
扇之

あそろーははろろぬせろろろろ那

あそろ  
周夕

まは季のいそりそたろー部乃ろ

まは季  
晨翁

あーあれあろれ世活乃目のろめ

あ馬のの浪山  
画歳

とー濃乃神のろろまんはえもろ那

濃乃  
垂去

ねつろろや縄むろろ代のむろー草

ねつ  
似舩

空に遠余るいと後波乃ろろろろろ

遠余  
落家

初をろろまろろろろ乃美面う那

初を  
萩夕

と初れ玉藻よあそろろ何そ目めれ

と初  
味琴

見ろろ初を掃をろろはくろろろろろ

見ろ  
似舩

胡鬼の子やあそろろ那ろろろろあそい

胡鬼  
同



やまの富士人きえ目を花ひく那  
はうらやとくめ乃ふさめ  
昔いもやあさ日ハ津代の大かきり  
八子程やまづおぢつくと胡よかひ  
る追乃あうととりあふさ雲う那

安房

但廣

但陀

柳燕

嘯琴

新字唱句

阪 多キハ 輒 モツハラ 取 ウツ 趣 タビ ワセテ

里洞

里洞  
佐佐

あぢやうかたやうよちやまを執る

すきつたの感やととり能袖速打

松白

え白やあやをさるる藻川

洗柳

難波風あそやとく乃初あまこ

板川

い集と櫻ひゆるんとあひ

あぢやうとくらの始よ

水差のこふまうつ子代乃正月う那

似船

*Watanabe (1720)*

*Watanabe (1720)*



破魔弓

四人子成とて人をして殺て

ひきこゝに子もたれ殺とて海をぬ

菅原夷隈并

田水

あま菜

小原寂光院にて

踏ツミてとととん及ぐの日は菜を

系

和海

あけしとてあま菜をげぬく世の中を

菅原三三

経古

旅人新女をりねくこゝろねの那

同

むり月をくくくくくくくくくくく

乃々高田

山舟

あま

むさしつゆをくくくくくくくくく

菅原三三

光山

抱衣をくくくくくくくくくくく

菅原三三

卜吟

追々くくくくくくくくくくく

同

吉道

山女袖をくくくくくくくくくく

同

支派

あま

さしてくくくくくくくくくくく

乃々高田

一吟



風を鞭やひく折く弱乃音あはれ  
とらつくとまきのあつたはらうや

つと  
時宗

豊後三玉  
淳水

梅

出らりやいはれ乃清水のこがれ梅  
我梅<sup>バク</sup>乃梅<sup>バク</sup>向まら抗まくら  
うめむくく和音乃あーまう那

ひろと流流  
梅江

おろし  
黒洞

加賀山平  
桃妖

回文

むめろげと白ひの音よまけの免む

粗吟

ゆき月むめろのまらうとく夕く那

えで松甲  
梅子

梅そくあはれまらあはれ那

但馬  
一吟

一まんまあはれまらあはれ那

孫下

梅うき紙麻中たあうれ新橋

但廣

柳

あ金の目あーとほろく柳う那  
はらうとあはれ柳の町もあ  
いはれとあはれ柳う那

後交

入石

秋可

秋後三てう



ほくくを柳ふ初ふとんかふ那

後三系 雜古

ま柳乃うとたてりさうくぬ藤が

後三系 系柳

ま柳や柳の末乃針もかりるた

卯月注 藤帘

池水よききさうくぬのやまたうか

指別福系庄 吟好

ま柳のうとくに鐘はくあ〜か

大坂照園門 芦船

一 世り朝うつ雨乃やまたうか

一 睡

洗柳真りよ

ゆきどより、蓮和結系やまたうか

似船

朽木よりりめをねん岸乃柳うか  
芥さうて柳よなみのびおとさうか

後三系 系柳

肥後らよと 定方

新字唱句

湯 揚 揚 湯 場

里洞

とぶあとのやまたうか〜タ 鴉

阿系

芦月唐月るまふ

かうておろと持のひしほと庭柳

似船



雪

うしろのまろきふせがうしろの眠れ

きねま  
里木

紙書

芦月宿月るまに

時の氣よむまの世をよひみかた

三夕

ひささのう入日ふまふらうららべ

一睦

むくまねどあひあひあひあり紙書

たし  
一下

山住の人お行きて

彼をあらしては世をれぬら居るお

肥後くまもと  
舟三舟

初午

雑集一はれと

人種をうらや紙書いれいり山

伏見赤井  
尚菜

雪雨

しらさあまよりの世をうら田原お

あらし  
閑月

甲<sup>五</sup>し<sup>ト</sup>らりしてまのやまのいりまはれ

女房  
里洞

まの雨をうらしてのまの本乃世具うめ

琴雪



五月

山平の温泉にて

女温泉やあはる月夜なる花肌

まき草

初月  
湯泉

歌字唱句

嬰ウライテ嬰ムサホル嬰ツクナラ嬰ヲチ

里洞

ともしもあはるの温泉とあはる花肌

但唐

あはるやあはる温泉のあはる

戸  
系統

繪西萩夕父の十七回忌追薦

真行

むのうへ父もあはる人あはるの産

似船

春影もあはる二月の比翼乃

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる

あはるあはるあはるあはるあはる



見ぬ人よむきし野原よ昔のま

似船

藤

むく末也藤よ雨のつゆをいへん

肥後くまもと  
吉浦 扇之

つよのむきし藤よ昔のま

肥後三木  
美瑛

花枝よ藤うらうらむきし那

肥後甲斐  
林梅

稚子

香かこしとらひのむきし藤よ昔のま

肥後甲斐  
伴桂

港

橋桁乃果さあられなうら藤

肥後  
光山

香百合の中水燕

藤のうらむきし藤よ昔のま

同

苗代

石真真ひよ

金の枝ありし清水乃折く藤

似船

花

百人一首の中  
小野小町と



たふさ乃ささきとあそむ程のうづりか

但能

けりあえり那さあ吉に女江戸あそ

落首

尾の唇をささくひて

さく花うしん紙はささく念佛うか

日記

そあさ笑本はあひくさむ白ひか

于梅

所愈うらわれあつささうさ

里洞

むのあていほくとあうりそあさ泡

柳江

花らうてあさ海ひまふたうりあそ

法風

よみてらん短尺ありとはあ乃潔

柳端

たうそ老の坂をこゆるとて

あはれむよ和光うつうく地蔵那

恩水

花うの号作者とまらむやまうちかあ

行益

これらもうしんお氣のせくやうひか

琉魂

松白のよ乃方まうりて

百ヶ日

むよあうりすたれよあうり百ヶ日

担竹

但馬下知見

丹別舟并竹舟

まふた甲

まふた甲

うんこま甲

ひうま

ひうは

肥後小巻



ちねむりし柳のまらぬ乳を

加月月  
落座

花も乃移れぬ世のくささ

山  
聖水

うし野むもやさく清ん琴の家

落座

接州もこの茶屋中居よ

旅宿うて真のりよ

うきゆきむものいぬ旅乃者

似船

揚

誰が魂うめらてさくらんや

船及三系  
舞古

たつて

鳴くえてのうへ切り小揚う那

大は船圍門  
芦船

旅夕む

さくくおもんやう一高や泊船の音

一圓子舞  
雲辨

芦月庵月次よ

幕あむむらそやういさくう守

柳燕

柳を乃饑あう

もつひぬる葉枝さくくおんうが

いろは  
里洞



茶乃庵つゝお城ととろおとろ

ちかやうまやうまぬ院の花の色

むさくに名のくらあやかな

みのちちさうさうお牛のはまね

風もけそ縁もあぶささうさう

金ち産よらうたてあうさう

ちかやうまやうまぬ院の花の色

むさくに名のくらあやかな

みのちちさうさうお牛のはまね

風もけそ縁もあぶささうさう

金ち産よらうたてあうさう

ちかやうまやうまぬ院の花の色

むさくに名のくらあやかな

みのちちさうさうお牛のはまね

風もけそ縁もあぶささうさう

金ち産よらうたてあうさう

ちかやうまやうまぬ院の花の色

廿

ち田

直玄

茶乃庵

如龍

茶乃庵

銀石

茶乃庵

美昭

茶乃庵

樂洞

茶乃庵

海巴

茶乃庵

海巴

期

海巴

但健

同

似服

同



三月三日

芦月庵月あまに

も乃つとぬ桃も酒ふこころを

新夕

桃のこころは上巳に

桃さうあうられをがら離れ良

宣伴 白拍子

もこれむよ物や回てひのれと

但廣

新字唱句

雑ミシヒモ 雅イトケチ 雛ヒナ 輶クルシ 雞カテ

里洞

神代つと桃のこころひのれむ

似舩

踏あふま水く経程乃柳の那

同

桃

ゆゑのむさうらよ

去後やう乃方角之歩もかを

卯海

田標

夢をばはらりて

酒は酔たうと捨ふ野うもか

沙茶 夢をばはらりて



白魚

れ字唱句

誼送

併レ綵

鮓

とほうとてはしきて何ぞしとぬり討

桑子

お字唱句

親

親

覲

覲

善日

やあつるにききていひつる善日ゆ

とるれ日小暇のあつるよきとく

いりま

里洞

江初いこ

花影

里洞

半後さ田洞

郷平

但馬さ田洞

吟水

睡

雨あはれとつとすふあひのあ

るあはれと睡といはく寐かゆ

寐

あちあちと流るる夢りふあ

すしくともや氣あつたあちなる

雜

あはれとあひつるあちなる

そ乃甲

木端

眠た

録古

そ乃甲

中ん

あちなる

妙法

江戸

周夕



新字唱句

宵ヨルハ 窘ムラカレ 寘トラニ 病ヤコト 客タビト  
隴ウチ 隴タニ 隴オホロテ 隴ウラニキ 隴ツカ

同 里洞

法務申出 身まうりたまひて

こせらふめりりりり此但度の

ゆくやうりりりり

物賣やまこしーおとろもははの指

似船

遠慮へまうりー何

形乃くまをまはももる記ある

昔ながらの船 来季

仔細必毎回度船好水よ京

あそく又の舟まうりりりり

かこりけつるお悼の物とさそ

はらりーけつるおーもこ月つこ

とりまねん

あそく日乃葉さうらめりー夕火踏

似船

き国は節のゆきまうり百人



一着乃ちあてふまの形は

まじふまじふといはまてよ

とアアこまれまて

ありはしき乃ちまのひ百ふま

仙船

元禄十年三月廿四日稿存

祿子の日雨よりまれり

あま乃ちあてふまの形は

同

あま乃ちあてふまの形は  
まじふまじふといはまてよ  
とアアこまれまて  
ありはしき乃ちまのひ百ふま  
元禄十年三月廿四日稿存  
祿子の日雨よりまれり  
あま乃ちあてふまの形は



子代五月集友

部

更衣

灌佛

牡丹

市ノ牡丹

牡丹

郭云

竹子

麦

垣半

萱

蠅

蚊

子ノトモ

葛蒲

五月五日

芍药

鴈好

早稲草

五月雨

五月

早稲

鴈河

覆盆子

瓜

瓜ノ子

瓜ノ子

取

靴

祇園會

夕立

檨

麻

心右

葎

毛ノ子

暑

夕立

納涼

付揃

薰風

清和

雜



子代睦月集 友和

更衣

旅者うそ

旅乃や<sup>ら</sup>のり<sup>ら</sup>若<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>—や<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>

落帛

加朔月は疾競軒

灌佛

灌<sup>ら</sup>佛<sup>ら</sup>—あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>か<sup>ら</sup>く<sup>ら</sup>て<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>か

同

杜若

叢<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>—は<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>て<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>雨<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>つ<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>

美宣

塚位うらや

右乃白<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>田<sup>ら</sup>家<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>画<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>海<sup>ら</sup>

後<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>や<sup>ら</sup>芥<sup>ら</sup>も<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup>

草樂

あや<sup>ら</sup>—<sup>ら</sup>花<sup>ら</sup>

儒者のあ<sup>ら</sup>ま<sup>ら</sup>む<sup>ら</sup>り<sup>ら</sup>て

大<sup>ら</sup>学<sup>ら</sup>や<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup>

風喰

嬰子花

日<sup>ら</sup>乃<sup>ら</sup>光<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>よ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>

一風子

括別名原栲仙言

富<sup>ら</sup>土<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>乃<sup>ら</sup>流<sup>ら</sup>ぬ<sup>ら</sup>も<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>

芦船

ふ<sup>ら</sup>夜<sup>ら</sup>

き<sup>ら</sup>—あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>を<sup>ら</sup>字<sup>ら</sup>解<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>風<sup>ら</sup>信<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>

落帛

あ<sup>ら</sup>別<sup>ら</sup>



牡丹

芦月唐新室真ひよ

福しや振ふめしひきふ花牡丹

似船

郭

人ノ魂ノ目ヨシヨシヤリ

扇之

肥後ノまじり言備

初あうや耳よはきく保くまき

但泥

類字

アランモサイイナリオトキスリ  
覲 覲 覲 規 峴

里洞

あまのまじり

そ色乃うらひらきくはきく

但塵

芦月唐新室真ひよ

あつせよしうはきく

山木

肥後阿蘇内校町

人ノ唇の繪やうし記きん子規

露氷

但馬へく産新

とを揚ふりく小控つはきく

画義

ひらう海洗師

らととや岩乃く唐郭

柳江

巴

あつまげく石とと水

珠卜

たしま仙狂

繪しきふ女とと水

如風

丹別舟井

あつしやあしきく

思水



印くまにけし振るはたきくも夜成

振る三糸  
鮮舌

筍

第カキノ籬タテノコハ笋トハム節ヲクミ篤

里洞

麦

あもろれし追刺もあし麦れ風

光山

抱牛

卒初安より落て角あつ抱牛

加別山中  
自笑

ほのまごく何うらむうん抱牛

但別下知足  
柳塔

管

あぬ程若ものにまはくやうか

たしまる田  
山舟

うつか木乃水き管のほくあ

ひうは  
里洞

風よりまやうにまうる障子か

張及三糸  
美路

石径よほくもくやうまの虫

可多一山浦  
一井

類字  
隣キツチヒ隣ハナテ隣チカタク隣ミツニ隣ホタル

里洞

鏡乃改癖痛まがく細う管うか

但廣

印くまにけし振るはたきくも夜成

乃またる  
荷雪



わーあーの程真あーむじやる物

本 芦船

芦月唐月次り

風をこよん換よあさぬのやうふか

いりま 湯水

持つやまをほつるるる氣乃力れ

あらし 井水

にさうらふ乃とたれまめさつる堂

同金はたか 如茂

未産中て汗りれてるる堂う水

江列いよ 花野

水よさ子ともあまきん堂河

加列 唐帝

東あつともあれと妙家やるか



蠅

蠅字

斫

斫

斫

斫

所

里洞

蚊

己記して人思ひ書報の程さめりち

ぢやうとてあうれうききりやうち

かやうちやあを記うる色の一者酒

横 横 横 横

ぢのあつと死るぢあつとてぬぬせさか

あつ

巫玄

はは二系

物の

ははあつ

お木

里洞

いりま

井水



栲

たらしまゝやじりりて音流るる

一吟

葛蒲

くちまよらそのおやめおれ紫

扇之

五月五日

竹さしといふたりにん葛蒲打

露巻

葛蒲草のまにやいぢおんこが

似船

絵あつたや葛蒲の并紙のわり

日

あ合と程ひろやと月のまろく

日

まゆ梅

梅

栞

杖

揺

植

杜

里洞

鳩鳩

あつて多あらねさうのけろくか

能別 菊海

子松茸

白木の初つゝ奇和の父方

あつらぬいぬまのよまらや



あつらんとおもふはるねあふ

はるねとてとてとて

あはれ舞うとてとてとてとて

似船

五月雨

梅もよひ堰井井り江のほとり

里洞

ささげはよ梅とてとてとてとて

但列の野  
正歳

あはれやさひりさあつるふあ乃雨

但虎

ささげはよ梅とてとてとてとて

但列の田  
一下

五月

なつね月柳うねよとてとて

乃  
吟水

早苗

五月月鳥月次よ

ささげはよ梅とてとてとてとて

想吟

梅河

五月月鳥月次よ

いふ月よ新とてとてとてとて

珠十



かがり火よ白髪をうろく糖のい母

か別 落葉

霞の血子

華ソヨメ 蔡サクリトル 蘼カイシキ 荇イチゴ

甲冑

瓜

芦月唐月次

あせとて目よりあつじふ瓜田介

友貞

茄子

誰とわく色糸こまーや銀茄子

落葉

夏衣

雅シロフエモ 雌シロキ 帷カタヒラハ 雄カタチ 進タカラ

里次

扇付リ うちい

田子此海は園解うる目もあそん

一睡

いひひあうまともぬあうま

山木

あそくくい扇こまー本陰うら

周々

社を網了

神あつりあそんあそく扇うら

落葉



點 ニナコ 圖 シカナリ 圖 カタ 團 ウチハラ 固 ニト 里 リ

點

沾 ニス 怙 ヨソホヒテ 拈 トル 點 アユラ 姑 アソビメ 同

さいもんお舎

多めの月かこころやふ初日や那 但

禊 ヤミ 殺 ホコ 禰 コタマハ 神 カミ 祝 ヨロコビ 里 リ

せふん

夕やふ乃意哉らまらるむやふ 小

夕やふやふそられそらの町そら 加

せふんやふそられそらの町そら 但

せふん

總角乃ぬそらあ 辨

本移やらそらあ 上

せこのひを春はく 淡

柳 柳

野川宗知身まらり 柳



洗拂のりこすつらつら

ぬきあらしもせまはゆる銭帳さか

似船

麻

教字 麩 カキハ 麩 チサレ 麩 カク 麩 アサニ 麩 ヤシロ

里雨

心太

あつたつと水乃骨らふららぬ

一吟

簞

たぐいしつ松のまつらひ烟草の那

生保

あまの山小海浦吉井

雲霧

あまの山小海浦吉井

薄古

暑

肩ぬぐと女ももらぬあつさうぬ

朝可

是置鼻見暑

里雨

好ふたち

拙作百詠

氣と洗ふ枕縁に夕立ち那

一睡



夕空よ砂ひきあぐる柳の那

薄帟

持つて半こぼらそふ音うか

肥後 清風

納涼 付掬清水

月やなむとらうかほく夕涼を

但別田中宿 跡を

池ぬやえあじもあそんで夕涼を

越後 光山

あつ人あ望よて産所の釣

とるほよせ付

糸よ水くこあも釣む涼を

似舩

撃 スル 泰 カケラ 衆 ナカレハ 繫 アセテ 繫 クスリ

里洞

くもあそらむく流あ清水うぬ

新田三條 一井

くもんたをてまふほくめ清水

切取 糸洞

多名より鄙カもかまらん那

群古

情 カリニミ 情 コホ 晴 ハレ 清 スミ 舩 フナ

里洞

雨一粒寄くくたれ納涼うか

薄帟

あそ河乃流よすむんて

河原や志れよとりく多羽織

似舩



葦風

カサ

風カサ

替カサ

魁カサ

類カサ

類カサ

里洞

津後

新カサの船カサの負カサせしる津カサ後カサ式

石井

猿尾

神原カサの津カサ後カサ表カサふくふカサ持カサくカサ深

女房

翠雷

雜

要カサ乃カサあカサらカサるカサ名カサあカサらカサらカサたカサ実

肥後

三舟

あカサつカサ瘦カサやカサうカサせカサはカサらカサはカサらカサ化カサ粧カサ窓

但列下

柳瑞

かカサ海カサさカサせカサやカサびカサうカサらカサるカサ乃カサ海カサ水

藤帝

不カサ満カサ種カサよカサ常カサのカサうカサらカサるカサ握カサ式

猿尾

風カサさカサらカサるカサ水カサのカサ船カサのカサ世カサ界カサうカサらカサる

日

船カサ乃カサ巢カサうカサらカサるカサひカサまカサじカサとカサらカサるカサ草カサか

口

周父

雷カサ舟カサのカサ床カサやカサらカサるカサさカサらカサるカサ判カサり

但廣

類カサ字カサ 術カサ 術カサ 術カサ 術カサ 術カサ

里洞

田カサ籠カサ父カサ乃カサちカサらカサるカサとカサ悔カサテ

てカサ船カサ程カサ乃カサあカサらカサるカサやカサはカサ船カサ程カサのカサ深カサ而

似船



先  
之  
編

竹  
編